

全国調査で「特別な配慮を要する子ども」の実態が判明。資格の創設と柔道発達支援フォーラムのお知らせ

1.実態調査

全日本柔道連盟発達特性特別委員会は、全国の柔道クラブ（学校部活動を含む）に「特別な配慮を要する子ども（神経発達症を含む）」がどの程度在籍しているかを把握するための調査を実施しました。

調査の結果、全国1104の柔道クラブ（全柔連登録団体の約15%）から回答が得られ、総在籍者15,360人のうち、「特別な配慮を要する子ども」が7.02%（幼児12.13%、小学生7.24%、中学生7.59%、高校生5.21%、大学生0.79%）在籍していること、特に小学生の場合、1クラブに平均1.03人の「特別な配慮を要する子ども」が在籍していることが明らかになりました。

こうした結果は、すでに柔道クラブに多様な子どもたちが参加している実態を浮き彫りにするとともに、現場の指導者が特性に応じた指導に試行錯誤しながら、日々向き合っている状況を示唆しています。

なお、本調査は指導者からの回答に基づき、柔道指導の現場で「特別な配慮を要する子ども」の実態を調査したものです。医師などの専門家による判断ではなく、発達障害のある子どもの割合を示すものではないことに留意ください。

2.資格の創設とフォーラムの開催

全日本柔道連盟は、2025年12月、発達障害の特性が考慮される柔道環境を広げるため、「柔道発達支援指導員」資格を創設しました。そこで、2026年2月8日（日）、柔道発達支援フォーラムをオンライン上で開催します。上記の実態調査の詳細や柔道を通じた子どもの発達支援について様々な視点から考えていきます。

1.実態調査

実態調査の詳細は「全国の柔道クラブに在籍する「特別な配慮を要する子ども（神経発達症を含む）」の実態に関する調査の結果の概要について」をご覧ください。

2.柔道発達支援フォーラム

(1)概要

目的：柔道を通じた子どもの発達支援を考える

名称：柔道発達支援フォーラム

日時：2026年2月8日(日) 10:00-12:00

場所：オンライン（ビデオ会議zoom）

内容：以下のスケジュールをご覧ください

対象：①全日本柔道連盟の会員

②全日本柔道連盟の会員以外の方が参加を希望される場合、
空きがあれば参加いただけます。

費用：無料

申込：以下のフォームまたはQRコードからお申込みください。

<https://form.run/@promotion-v51JpKhRmCGkTHdAhi5R>

定員：400名

主催：全日本柔道連盟

連絡先：振興課 promotion@judo.or.jp



(2) スケジュール

時間	内容	登壇者
10:00-10:10	開会挨拶	中里壮也(全日本柔道連盟副会長)

10:10-10:30	柔道発達支援指導員資格の創設	木村昌彦(全日本柔道連盟発達特性特別委員会委員長)
10:30-11:00	実態調査の結果から柔道を通じた発達支援を考える	西村健一(高知大学教授) 小崎亮輔(鹿屋体育大学講師) 細川賢司(名古屋芸術大学講師)
11:00-11:30	指導の現場から柔道を通じた発達支援を考える	水見智織(尚志館當摩道場) 遠藤恵一(神奈川県中学校教諭)
11:30-11:50	福祉の現場から柔道を通じた発達支援を考える	浦井重信(文武両道の放課後等デイサービスみらいキッズ塾) 小崎香菜(放課後等デイサービス笑光)
11:50-11:55	閉会挨拶・諸連絡	司会：酒井重義(NPO法人judo3.0)

(3) 登壇者

中里壮也 全日本柔道連盟副会長兼専務理事

木村昌彦 全日本柔道連盟発達特性特別委員会委員長・指導者養成委員会委員長

西村健一

高知大学教授 臨床発達心理士スーパーバイザー 公認心理師 全日本柔道連盟発達特性特別委員会副委員長。主な著書（共著）に「新時代を生きる力を育む 肢体不自由のある子のウェルビーイング教育・支援実践」（2024年 ジアース教育新社）、「発達が気になる子が輝く柔道&スポーツの指導法」（2020年 NPO法人judo3.0）などがある。

小崎亮輔

鹿屋体育大学講師。全日本柔道連盟発達特性特別委員会委員。柔道を発達支援の手段とした取り組みである柔道療育を主要な研究テーマとしており、これまで複数の論文を出版している。主な論文に「知的・発達障害児を持つ保護者を対象とした柔道療育の効果に関する質的研究」などがある。[リサーチマップ](#)

細川賢司

名古屋芸術大学講師。全日本柔道連盟発達特性特別委員会委員。運動・スポーツを用いた発達支援を主要な研究テーマとしている。主な論文に「自閉スペクトラム症を対象とした武道による介入研究のスコーピングレビュー」などがある。[リサーチマップ](#)

水見智織

尚志館當摩道場（北海道苫小牧市） 全柔連ACP@柔道場エバンジェリスト。北海道苫小牧市でインクルーシブな柔道指導に取り組む。

遠藤恵一

神奈川県中学校教諭。横浜市で特別支援学級の担任を務め、中学柔道部の指導に当たるほか、インクルーシブな地域の練習会「ありんこ練習会」を運営する。

浦井重信

大阪府堺市で柔道を活用した「文武両道の放課後等デイサービスみらいキッズ塾」を運営する。主な著書（共著）に「発達が気になる子が輝く柔道&スポーツの指導法」（2020年 NPO法人judo3.0）などがある。

小崎香菜

鹿児島県鹿屋市で柔道を活用した「放課後等デイサービス笑光」を運営する。

酒井重義

NPO法人judo3.0 全日本柔道連盟発達特性特別委員会副委員長